

一般財団法人サカタアグリ財団

第2期（2025年）外国人留学生奨学金募集要項

本奨学金は、給付型（返済不要）となります。農学等に関わる専門的な知識や研究を通じて、農業の振興・発展のみならず、食糧危機や環境破壊等、母国や世界の社会的な課題解決に向け貢献したいという高い志を持った方を支援する奨学金給付プログラムとなります。なお、ここでいう農学等とは、別紙1の文部科学省の定める「学科系統分類表」に定める農学・農芸化学・農業工学・農業経済学をいう。

1. 応募資格

(1) 応募対象者(2025年4月1日時点のもの)

次に掲げる要件をすべて満たすものとする。

①対象国の国籍を有し、在留資格が「留学」であること。

②指定校の学士過程、修士課程、博士課程に在籍し、以下のいずれかの要件を満たしていること。但し、学士過程は大学2年生以上であること。

a. 農学等に関わる学部 に在籍している者。

b. 農学等の分野を専攻し研究に従事する者

③2025年4月1日時点で、30歳以下であること。

④日本語での日常的なコミュニケーションができること（日本語能力検定 N3 以上、または同等以上）。また、交流会等のイベントに参加できること。

⑤学業に対して熱意をもって取り組み、大学・大学院での研究・活動を通じて身に付けた専門知識等を活かし、将来、母国の発展に寄与したいという強い意識や高い志を有していること。

(2) 対象国

東南アジア諸国、インド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュ、ネパール、ブータン、モンゴル、中南米諸国、アフリカ諸国

※東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。

※中南米諸国、アフリカ諸国とは、外務省ホームページに記載された国をいう。

(3) 指定校

現在の指定校は、以下の通りとなります。

北海道大学、弘前大学、山形大学、岩手大学、東北大学、新潟大学、宇都宮大学、茨城大学、筑波大学、信州大学、東京農工大学、千葉大学、静岡大学、名古屋大学、岐阜大学、三重大学、京都大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、九州大学、佐賀大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

明治大学、東京農業大学、玉川大学、法政大学、日本大学、名城大学、近畿大学

2. 採用予定者数

本奨学金の採用予定者数は、3名とする。

3. 応募方法

(1) 応募方法

応募者は、応募書類を作成し在籍する大学・大学院を経由し、メールまたは郵送にて提出するものとする。なお、応募書類は、すべて日本語表記とする。

※応募者個人から直接出願は受け付けておりません。在籍する大学・大学院の学生課や留学生課など奨学金を担当する部署を通じて出願してください。

(2) 応募書類

本奨学金の選考を希望する者は、下記の応募書類を提出しなければならない。なお、応募者より提出された応募書類は、応募者の希望の有無に関わらず、返却しないこととする。

- ①奨学生願書
- ②学生証（写し）
- ③成績証明書（原本）
- ④所属大学・大学院の学長等による推薦書（原本）
- ⑤外国人登録証明書、パスポート等、在留資格が記載された書面（表裏の写し）

（３）スケジュール

応募期間は、2025 年 4 月 1 日（火）～2025 年 5 月 16 日（金）とする。

一次選考（書類審査）：2025 年 5 月、二次選考（面接審査）：2025 年 6 月以降の予定。

なお、各選考の合格者は、在籍大学・大学院を通じて通知する。

（４）選考料

本奨学金の選考料は無償とする。なお、二次選考は、当財団指定の方法によるオンライン形式の面接を予定している。対面形式の面接を実施する場合、選考会場までの交通費は、公共の交通機関を利用した場合に限り、自宅から選考会場までに要した費用を支給する。

4. 奨学金の給付

（１）奨学金の給付額

月額 100,000 円を給付する。

（２）給付期間

- ①学士過程：2025 年 4 月から正規の学士過程終了月まで
- ②修士課程：2025 年 4 月から正規の修士過程終了月まで（最長 2 年間）
- ③博士課程：2025 年 4 月から 2 年間（但し、2 年以内に正規の博士課程終了月を迎える場合は、その月まで）

（３）給付方法

日本国内に本店・支店を有する金融機関の口座に、3 ヶ月分を一括で振込みにて給付する。なお、3 ヶ月分一括で 25 日（金融機関が休日の場合は、前日）に振込みにて給付する。

（４）その他手続き

奨学生は、奨学金の振込先となる金融機関の口座情報（本人に限る）を所定の方法により、財団が指定する期日までに届出ることとする。

5. 奨学金の給付停止

下記に該当した場合、理事長の承認を得て、奨学金の給付を停止する。

- ①在留資格が「留学」でなくなったとき
- ②進級ができなかったとき
- ③休学又は長期に渡って欠席したとき
- ④停学その他の処分を受けたとき
- ⑤退学したとき
- ⑥学業成績が不良になったとき
- ⑦他の団体等からの奨学金を受給する（支給される）こととなったとき

※日本政府、日本学生支援機構、地方自治体及び国連国際交流団体、または所属する大学・大学院からの奨学金は除く。

- ⑧上記のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

6. 奨学生の義務

- ①毎年 4 月末日までに、当財団が定めるレポート、直近の成績証明書、在学証明書、在留資格が記載された書面（写し）を提出しなければならない。
- ②特段の事情があると認められる場合を除き、財団が行う交流会に出席しなければならない（年に 1 回程度

を予定)。

- ③本人の氏名、住所、振込口座情報等、奨学金給付の継続にあたって必要となる事項が変更になった場合、当財団事務局に届出ることとする。
- ④他大学・大学院への留学・ボランティア活動等による休学等、大学・大学院を一時的に休学する場合は、速やかに当財団事務局に届出ることとする。
- ⑤自薦または他薦等により、他団体の奨学金制度を受給することとなった場合、速やかに当財団事務局に届出ることとする。

7. 個人情報の取扱いについて

当財団は、応募の際に提出された個人情報は、奨学生の選考以外には一切使用しないこととする。

8. 問い合わせ先

〒224-0041 横浜市都筑区仲町台 2-7-1

一般財団法人 サカタアグリ財団 事務局（事務局：鈴木・金子）

TEL：045-945-8222（070-1565-0076）

メールアドレス：akihiro.suzuki@sakata-agriculture.or.jp

yumi.kaneko@sakata-agriculture.or.jp